

PWR-N200-OP

取扱説明書

このたびは、PWR-N200-OP をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



Wi-Fi クレードル

安全にお使いいただくために必ず お読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■ お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

■ 警告・注意を促す記号  注 意  発火注意  感電注意
■ 行為を禁止する記号  禁 止  火気禁止  風呂等での 使用禁止  分解禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止
■ 行為を指示する記号  電源プラグ を抜く
■ 指示を守る記号 

ご使用にあたって

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS パーティションによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
- 本書での  の記載は設定中などに特に確認していただきたい注意事項です。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本商品を運用した結果の他への影響については、上記に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本商品は一般的な家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関わる設備や機器、および海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本商品を使用され、本商品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意事項。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。
- 本商品を紛失・毀損した場合および解約後に返却いただけない場合は、補償金を申し受けますのであらかじめご了承ください。
- 本商品の譲渡や転売（オークションへの出品を含む）等の行為は禁止します。

【返却される場合の留意事項】

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

厳守事項

- ユーザ ID とパスワードの取り扱いについて

ユーザ ID とパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力には必ずお客様自身で行ってください。

- 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことを推奨します。

当社ホームページ

NTT 東日本	http://web116.jp/ced/
---------	---

本商品は、「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制対象品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

警告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**

風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● **水のかかる場所への設置禁止**

水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。



● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**



● **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**

- ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所



● **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。**

本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。



警告

こんなときは

● 発煙したり変なにおいがした場合

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



● 水が装置内部に入った場合

万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などがに入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



● 異常音がしたり、本商品が熱くなっている場合

本商品から異常音がしたり、本商品が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 異物が装置内部に入った場合

本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。



● 電源アダプタの取り扱い注意

付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となります。また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。



警告

● 電源アダプタの設置の注意

電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

電源アダプタ（電源プラグ）は容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。



● 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。

重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止事項

● 延長コード利用の禁止

電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。



● たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線するとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



● 商用電源以外の使用禁止

AC100 ± 10V (50/60Hz) の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

差し口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



警告

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。
- 分解改造の禁止
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- めらすことの禁止
本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックに水が入ったりしないよう、また、めらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。また、LANケーブルのモジュージャックがぬれた場合は、乾いても、そのLANケーブルを使わないでください。
- めれた手で操作禁止
めれた手で本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、モジュージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器などの中に入れてください。
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- コンセントにつながれた状態でコネクタをショートさせないでください。また、コネクタに導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を触れさせたり、内部に入れたりしないでください。
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
火災・やけど・けが・感電・故障の原因となります。
- 使用中や充電中に、布や布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災・やけどの原因になります。
- 本商品の小さな部品（ゴム足など）を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告

- **故障や異常のまま、つながないでください。**
本商品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器を取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- **じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わないでください。**
火災の原因になります。
- **本商品の内部や周囲でエアダスターやスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。** 引火による爆発、火災の原因となる場合があります。



その他のご注意

- **異物を入れないための注意**
本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。** 電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。** 電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。**
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。



⚠ 注意

設置場所

● 火気のそばへの設置禁止

本商品やケーブル類、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- #### ● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



● 温度の低い場所への設置禁止

本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



● 湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度 80%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



● 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本商品を逆さまに置かないでください。



● 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。



- ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける
- ・ 毛布や布団をかぶせる

⚠ 注意

- **重ね置き禁止**
本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となることがあります。**
- **長時間にわたり一定箇所に触れ続けしないでください。**
充電中や動作中の本商品、電源アダプタに触れると、熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定箇所に触れ続けると、低温やけどを起す恐れがあります。
このような状況が発生した場合、風通しの良い場所に置いて十分に放熱させ、使用してください。
- **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**



禁止事項

- **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



電源

- **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- **本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10秒以上あけてから差し込んでください。**



⚠ 注意

- **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。
- **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。



その他のご注意

- **本商品を取り扱うときは、次のことを守ってください。**
 - ・ 端子に針金などの金属を接続させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管したりしないでください。
 - ・ 火の中に投下しないでください。
 - ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
- **移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- **雷のときの注意**
落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- **火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**
- **本書にしたがって接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - ・ ほこりや振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・ 特定無線局や移動通信体のある屋内
 - ・ 盗難防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなる場合があります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品と無線 LAN 端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m 以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線 LAN に関する注意事項

- 最大 1Gbps (規格値)、最大 100Mbps (規格値) および最大 10Mbps (規格値) は 100BASE-T、100BASE-TX および 10BASE-T の有線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) を示すものではありません。

無線 LAN に関する注意事項

- 最大 300Mbps (規格値) や最大 54Mbps (規格値)、最大 11Mbps (規格値) は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) を示すものではありません。

- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- IEEE802.11n(5GHz)および IEEE802.11a(W52)/(W53) の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- IEEE802.11a (W52) / (W53) は 5.2 ～ 5.3GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を、「WPA-PSK (AES)」または「WPA2-PSK (AES)」(推奨) に設定する必要があります。

バージョンアップに関する注意事項

- 本商品は、常に最新のファームウェアをご利用いただけるよう、ファームウェアのアップデート設定が「自動更新」に設定されています。
自動更新の場合、最新のファームウェアが公開されると、ファームウェアのアップデートを自動で行います。
ファームウェアをアップデートするには、インターネットとの接続が必要です。
ファームウェアのアップデートが終了するまで本商品の電源を切らないようにしてください。
バージョンアップを行うと、本商品が再起動し、通信は切断されます。
詳細は、「リファレンスガイド」の「Web 設定」の「メンテナンス」 - 「ファームウェア更新」を参照してください。

電波に関するご注意

無線 LAN 機器の電波に関するご注意

本商品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。
この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
 - ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
 - ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
 - ・異なる階の部屋どうし
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品を 5.2GHz/5.3GHz 帯で使用する場合は、屋外で使わないでください。法令により 5.2GHz/5.3GHz 無線機器を屋外で使用することは禁止されているため、屋外で使用する場合は、あらかじめ 5.2GHz/5.3GHz 帯の電波を無効にしてください。
- 本商品を IEEE802.11n (5GHz) および IEEE802.11a で通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz/5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

・使用可能なチャンネル

IEEE802.11b/g	W52 仕様 (5.2GHz 帯 /36ch,40ch,44ch,48ch)
IEEE802.11a/n	W53 仕様 (5.3GHz 帯 /52ch,56ch,60ch,64ch)
J52 W52 W53 W56	

- 無線 LAN アクセスポイントとしては、従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
- W53 (52/56/60/64ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャンネルの通信開始前に 1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルが変更されるので、通信が中断されることがあります。
- 本商品は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本商品を分解/改造すること

- 本商品は、他社無線 LAN カードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。
- 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

本商品に表示した 2.4 DS/OF 4 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティの仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
ご利用前の注意事項	15
目次	20
マニュアルの読み進めかた	22

1 章 はじめに

1-1 特長	1-2
対応 OS	1-2
1-2 付属品の確認	1-3
1-3 各部の名称	1-4
PWR-N200-OP	1-4
1-4 本商品の初期化	1-8
1-5 PWR-N200 の設置	1-9

2 章 設置する

2-1 ルータモードで設置する	2-2
2-2 アクセスポイントモードで設置する	2-3

3 章 接続設定

3-1 有線 LAN で接続する	3-2
3-2 無線 LAN で接続する	3-3
3-2-1 WPS (プッシュボタン式) を使って接続 (Windows® 7)	3-4
3-2-2 無線ネットワーク名 (SSID) を検索して手動で接続	3-6

4 章 インターネットに接続する

4-1 「Web 設定」を開く	4-2
Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)	4-3
JavaScript™ の設定をする (Windows® 共通)	4-4
JavaScript™ の設定をする (Mac OS)	4-6
「Web 設定」を開く	4-7
4-2 ルータモードの PPPoE を設定する	4-8

5 章 その他の設定

5-1 クライアントモード	5-2
クライアントモードで設置する	5-2
PWR-N200-OP 同士を無線 LAN で接続する	5-4

6章 困ったときは

- 6-1 有線 LAN でインターネットに接続できない…………… 6-2
- 6-2 「Web 設定」を開けない…………… 6-3
- 6-3 無線 LAN でインターネットに接続できない…………… 6-4
- 6-4 その他で困ったときは…………… 6-5

7章 付録

- 7-1 仕様一覧…………… 7-2
- 7-2 パソコンのネットワーク設定…………… 7-4
 - Windows® 7/Windows Vista®…………… 7-4
 - Windows® XP…………… 7-5
 - Mac OS X…………… 7-6
- 7-3 「リファレンスガイド」について…………… 7-7

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

● 簡単セットアップガイド／各種端末接続ガイド

本商品と無線 LAN 端末の接続の手順をわかりやすく説明しています。

● 取扱説明書（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

● リファレンスガイド（HTML ファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

※「リファレンスガイド」は、Web サイトにて掲載されています。（☛7-7 ページ）

■ 取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してインターネットに接続するまでの流れは、下記ようになります。

付属品の確認をします

「1-2 付属品の確認」



取り付けます

「2 章 設置する」



無線 LAN の設定をします

「3 章 接続設定」



インターネットに接続します

「4 章 インターネットに接続する」

※ 本商品の Web 設定や設定内容の確認には、Windows[®] および Windows Vista[®] の場合は Internet Explorer[®] (6.0 ~ 9.0)、Mac OS の場合は Safari (3.0.4 ~ 5.1.4) のご利用をお勧めします。ゲーム機や携帯端末に搭載されている Web ブラウザの場合、本商品の設定や画面表示が正しく行われない場合があります。

Windows[®]、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista[®] はオペレーティングシステムです。

Internet Explorer[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Mac OS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアはいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

1

はじめに

1

この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

- 1-1 特長 1-2
- 1-2 付属品の確認..... 1-3
- 1-3 各部の名称..... 1-4
- 1-4 本商品の初期化..... 1-8
- 1-5 PWR-N200 の設置 1-9

1-1 特長

本商品は PWR-N200 のオプション品の Wi-Fi クレードルです。
本商品の主な特長は次のとおりです。

●無線 LAN 機能

無線 LAN 通信速度 最大 300Mbps (規格値) に対応しています。

※デュアルチャネルを「使用する」に設定した場合の通信速度です。なお、デュアルチャネルを「使用する」に設定した場合でも、ご利用の環境によってはデュアルチャネルがご利用いただけない場合があります。

2.4GHz (802.11b/g/n) および 5GHz (802.11a/n) の両帯域を同時に利用できます。

●ブロードバンドルータ機能 (有線 LAN の機能)

Ethernet ポートは、最大 1Gbps (規格値) に対応しています。

INTERNET ポートと LAN ポートは独立して 1 つずつ実装しています。

ルータモード、アクセスポイントモードに対応しています。

●PWR-N200 のクレードルとして利用可能

本商品は、PWR-N200 を直接設置し充電クレードルとして利用できます。

PWR-N200 を本商品に設置すると、PWR-N200 のすべての無線機能 (3G、Wi-Fi) が停止し、本商品の機能により、インターネット接続が可能となります。

※PWR-N200 を本商品に設置している際は PWR-N200 の microSD カードへのアクセス、PWR-N200 への充電およびファームウェア更新機能を実行することができます。

対応 OS

※ 2012 年 3 月時点での情報です。

- Windows® XP SP3 (32 ビット)
- Windows Vista® SP2 (32 ビット / 64 ビット)
- Windows® 7 (32 ビット / 64 ビット)
- Mac OS X 10.5 以降

※各 OS に準拠した Web ブラウザをご利用ください。

※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

※本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。

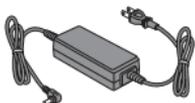
1-2 付属品の確認

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

■ 本体および付属品



PWR-N200-OP (1台)



電源アダプタ (1個)



取扱説明書
(本書 1冊)



LANケーブル (1本/約2m)



簡単セットアップガイド/各種端末接続ガイド
(1枚)

- 本商品ご使用時の注意 (1枚)
- 無線電波注意ラベル (無線LAN機器の電波に関するご注意) (1枚)

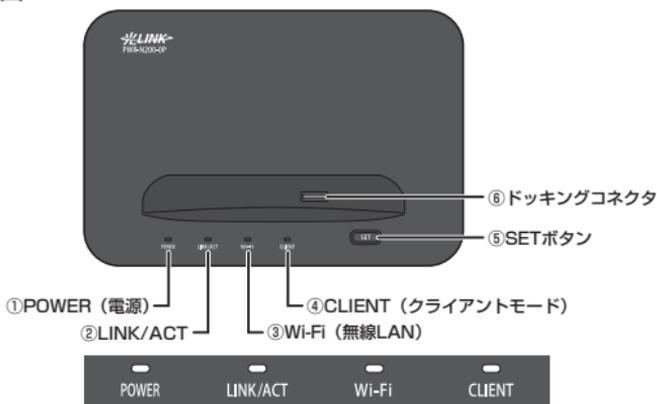
1

はじめに

1-3 各部の名称

PWR-N200-OP

● 上部図



【ランプ表示】

ランプの名称	表示 (色)	状態	
① POWER (電源)	緑	点灯	電源が入っています。
	緑	点滅	らくらく無線スタートで検索中です。
	橙	点灯 (10秒)	らくらく無線スタートの設定が完了しました。
	赤	点滅	らくらく無線スタートに失敗しました。
			WPS での設定に失敗しました。
			初期化準備中です。
	橙	点滅	らくらく無線スタート登録中です。
			WPS で無線設定中です。
緑	点滅 (10秒)	ファームウェアバージョンアップ中です。 (再起動待ち状態)	
—	消灯	電源が入っていません。	

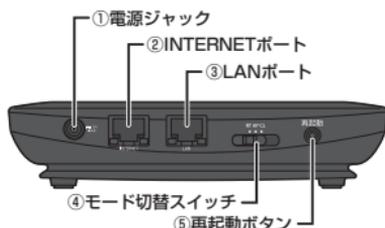
ランプの名称		表示 (色)		状態	
② LINK/ACT		緑	点灯	ルータモードの場合に PPP リンクが確立しています。	
				ルータモードの場合に WAN 側 IP アドレスが設定されています。	
		緑	点滅	ルータモードの場合に PPPoE サーバからの応答を確認しています。	
		橙	点灯	アクセスポイントモード・クライアントモードのとき WAN 側 IP アドレスが設定されています。	
		赤	点滅	ルータモードの場合に PPP 認証を再確認中です。	
				アクセスポイントモード・クライアントモードのとき WAN 側 IP アドレスが異常です。	
—	消灯	ルータモードの場合に PPP リンクが確立していません。 リンクダウン			
③ Wi-Fi (無線 LAN)	ルータモード / アクセスポイントモード	緑	点灯	2.4GHz / 5GHz 同時稼働中です。	
		緑	点滅	2.4GHz / 5GHz 同時通信中です。	
		橙	点灯	2.4GHz / 5GHz の一方のみ稼働中です。	
		橙	点滅	2.4GHz / 5GHz の一方のみ通信中です。	
		—	消灯	無線 LAN を使用していないとき、ECO モードで動作中です。	
	クライアントモード	緑	点灯	電波強	
		緑	点滅	電波強	
		橙	点灯	電波中	
		橙	点滅	電波中	
		赤	点灯	電波弱	
		赤	点滅	電波弱	
		—	消灯	電波圏外	
	④ CLIENT (クライアントモード)		緑	点灯	クライアントモード 動作中
			—	消灯	ルータモード・アクセスポイントモードで動作中です。

ルータモードまたはアクセスポイントモードで ECO モード起動中は、POWER ランプのみ緑遅点滅して他のランプは消灯します。

名称	表示	機能説明
⑤ SET ボタン	SET	らくらく無線スタート WPS を起動するためのボタンです。※ 1
⑥ ドッキングコネクタ	—	PWR-N200 と接続するためのコネクタです。

※ 1 らくらく無線スタートでの接続は、工場出荷状態では 2.4GHz に設定されています。
5GHz に変更する場合は、「リファレンスガイド」の「Web 設定」の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 簡単セットアップ」を参照してください。

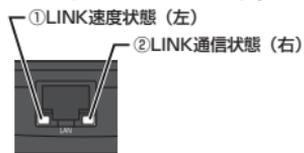
● 側面図



【ポート名など】

名称	表示	機能説明
①電源ジャック	—	DC 12V / 1.5A
②INTERNETポート	INTERNET	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 自動設定
		MDI/MDI-X 自動設定
③LANポート	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-T 自動設定
		MDI/MDI-X 自動設定
④モード切替スイッチ	RT AP CL	本商品のモード（RT：ルータモード／AP：アクセスポイントモード／CL：クライアントモード）を切り替えるためのスイッチです。
⑤再起動ボタン	再起動	再起動を行うためのボタンです。

● 側面図（INTERNETポート／LANポート）



【ランプ表示】

ランプの名称	表示（色）		状態
①LINK速度状態（左）	橙	点灯	100/1000Mbps
	—	消灯	10Mbps
	—	消灯	未リンク ECOモードで動作中
②LINK通信状態（右）	緑	点滅	通信中
	緑	点灯	無通信状態
	—	消灯	未リンク ECOモードで動作中

1-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合や管理者パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

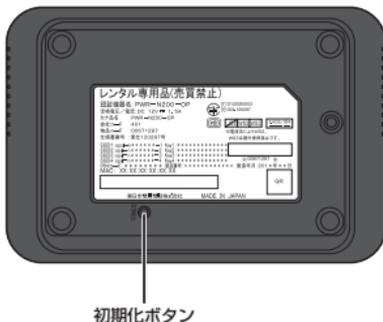
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「リファレンスガイド」の「Web 設定」の「メンテナンス」－「設定値の初期化」をご覧ください。

初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクなどに保存しておくことを推奨します。詳細は「リファレンスガイド」をご覧ください。

■ 設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

- 1 モード切替スイッチを「RT」にセットする
- 2 本商品の電源を ON にする
※ 本商品が起動するまで 60 秒ほどお待ちください。
- 3 本商品底面の初期化ボタンを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で押し続け、POWER（電源）ランプが赤点滅をはじめたら放す



※ 再起動後、上部ランプ（POWER（電源）、LINK/ACT、Wi-Fi（無線 LAN）、CLIENT（クライアントモード））が同時に緑点滅したら初期化は完了です。

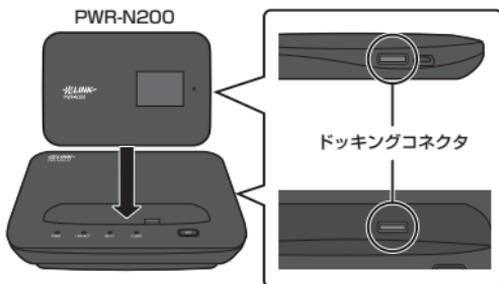
🌀 お知らせ

- 本商品に設定する（接続）ユーザ名や（接続）パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分ご注意ください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

1-5 PWR-N200 の設置

PWR-N200 を取り付け、充電することが可能です。

※ PWR-N200 以外は取り付けないでください。



PWR-N200 を本商品に取り付けると、PWR-N200 のすべての無線機能（3G、Wi-Fi）が停止し、本商品の機能により、インターネット接続が可能となります。取り付けている際は PWR-N200 のディスプレイに  が表示され PWR-N200 の microSD カードへのアクセス、PWR-N200 への充電およびファームウェア更新機能を実行することができます。



本商品への取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品から完全に取り外したあとに、再度、確実に本商品に取り付け直してください。

お知らせ

- PWR-N200 の接続方法や設定については PWR-N200 の取扱説明書を参照してください。



2

設置する

この章では、モードごとの設置方法を説明しています。

2

- 2-1 ルータモードで設置する…………… 2-2
- 2-2 アクセスポイントモードで設置する…………… 2-3

2-1 ルータモードで設置する

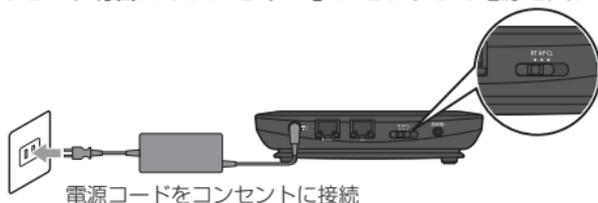
本商品は以下の3つのモードをサポートしています。

- ルータモード：PWR-N200-OP をルータとして利用するときのモード
 - アクセスポイントモード：PWR-N200-OP を無線 LAN のアクセスポイントとして利用するときのモード
 - クライアントモード：無線 LAN 機能がないパソコンなどで PWR-N200-OP を利用し、無線 LAN 端末として利用する場合のモード
- ※クライアントモードについては「5章 その他の設定」を参照してください。
※モードごとに設定情報を個別に保持しています。したがって、モードを切り替えた際には、切り替える前のモードで設定変更した内容は反映されません。

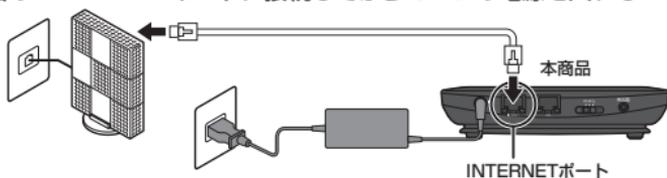
ルータモードは、ひかり電話ルータ（ブロードバンドルータなど）をご利用していない場合に使用します。（本商品を ONU（回線終端装置）に直接接続します。）

※モードを切り替える場合、電源コードをコンセントから抜き、一度電源を切ってから行ってください。

1 本商品のモード切替スイッチを「RT」にセットして電源を入れる



2 LAN ケーブルの一方を ONU（回線終端装置）に接続し、もう一方を本商品の INTERNET ポートに接続してから ONU の電源を入れる



3 本商品のランプが次のように点灯するまでしばらく待つ

- POWER（電源） 緑に点灯
- LINK/ACT 消灯
- Wi-Fi（無線 LAN） 緑に点灯または点滅

これで本商品のルータモードでの設置は完了です。引き続き、「3章 接続設定」をご確認ください。

2-2 アクセスポイントモードで設置する

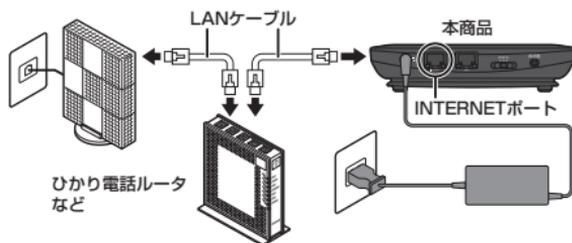
アクセスポイントモードは、すでにひかり電話ルータ（ブロードバンドルータなど）をご利用の場合に使用します。

※モードを切り替える場合、電源アダプタをコンセントから抜き、一度電源を切ってから行ってください。

1 本商品のモード切替スイッチを「AP」にセットして電源を入れる



2 ひかり電話ルータなどのLANポートと本商品のINTERNETポートをLANケーブルで接続する



新規でひかり電話をご利用の方は、ひかり電話ルータの設定を行ったあと、本商品の設定を行ってください。

3 本商品のランプが次のように点灯するまでしばらく待つ

- POWER（電源）緑に点灯
- LINK/ACT 橙点灯
- Wi-Fi（無線LAN）緑に点灯または点滅

これで本商品のアクセスポイントモードでの設置は完了です。引き続き、「3章 接続設定」をご確認ください。



3

接続設定

この章では、パソコンから LAN への接続方法を説明しています。

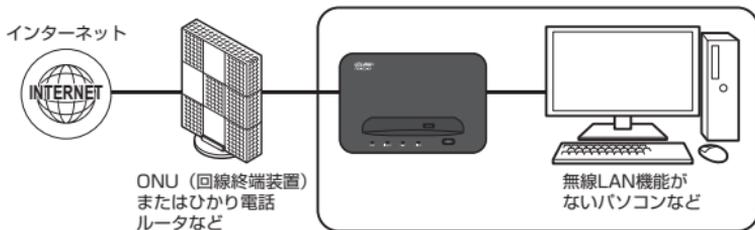


3

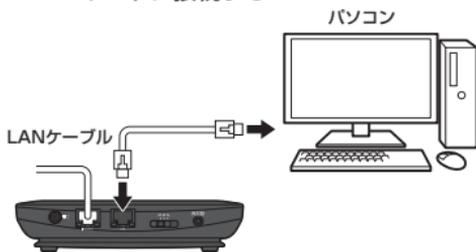
- 3-1 有線 LAN で接続する 3-2
- 3-2 無線 LAN で接続する 3-3

3-1 有線 LAN で接続する

無線 LAN 機能がないパソコンなどで本商品を利用する場合は、次の手順で接続します。
※接続イメージ図はルータモードです。



- 1 LAN ケーブルの一方を本商品の LAN ポートに接続し、もう一方をパソコンの Ethernet ポートに接続する

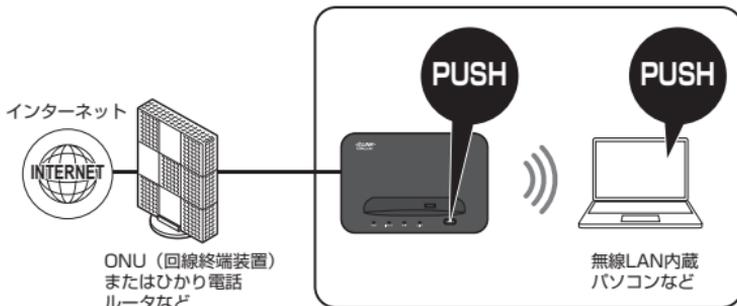


3-2 無線 LAN で接続する

無線 LAN 内蔵パソコンと本商品との無線接続は以下 2 通りの方法があります。

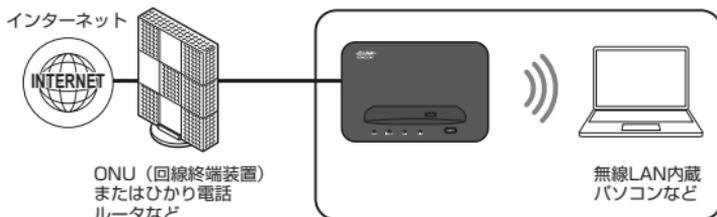
※ 接続イメージ図はルータモードです。

● WPS (プッシュボタン式) を使って接続する (Windows® 7)



本商品の SET ボタンを押して接続します。

● 無線ネットワーク名 (SSID) を検索して接続 (Windows Vista®, Windows® XP, Mac OS X)



無線 LAN 内蔵パソコンなどから本商品を検索し、本商品に設定されている暗号化キーを使って接続します。

● お知らせ

● おまかせモードを使用して接続する方法は、「リファレンスガイド」を参照してください。



- IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n を使用する機器が混在している場合は、IEEE802.11n を使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n 通信を行うためには、無線 LAN 端末の暗号化を、「WPA-PSK (AES)」または「WPA2-PSK (AES)」(推奨) に設定する必要があります。
- デュアルチャネルを「使用する」に設定していても、ご利用の環境によってはデュアルチャネルがご利用いただけない場合があります。

3-2-1 WPS (プッシュボタン式) を使って接続 (Windows® 7)

※ Windows® 7 では無線ネットワーク名 (SSID) を検索して手動で接続することも可能です。



出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) は、このラベルに記載されています。

本商品の底部にある出荷時設定情報ラベルにて、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を確認します。

SSID1 : opcl-nxxxxxx-1	2.4GHz 帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。
SSID3 : opcl-nxxxxxx-3	5GHz 帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。

お知らせ

- 本商品は 4 つの無線ネットワーク名 (SSID) を使用することが可能です。
- 本商品は工場出荷状態では、SSID2 と SSID4 は「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」が「する」に設定されています。
- WEP など、WPA2-PSK (AES) に未対応の機器を使用して接続する方法は「リファレンスガイド」を参照してください。

Windows® 7の場合

1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコン  をクリックする

※ タスクトレイは通常画面右下にあります。

※ アイコンは異なる場合があります。

2 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択して [接続] をクリックする

継続的にご使用される場合 [自動的に接続する] にチェックを入れたあと、[接続] をクリックします。



3 下の画面が表示されたら、暗号化キーを入力せずに、本商品の SET ボタンを POWER (電源) ランプが緑点滅するまで押し続ける



設定中は本商品の POWER (電源) ランプが点滅します。

設定が完了すると自動的に画面が消えます。

本商品の POWER (電源) ランプが 10 秒間緑点滅したら、設定完了です。



3-2-2 無線ネットワーク名 (SSID) を検索して手動で接続



出荷時の無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーは、このラベルに記載されています。

本商品の底部にある出荷時設定情報ラベルにて、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを確認します。

SSID1 : opcl-nxxxxxx-1	2.4GHz 帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。
SSID2 : opcl-nxxxxxx-2	2.4GHz 帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WEP (128bit)」が設定されています。
SSID3 : opcl-nxxxxxx-3	5GHz 帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WPA2-PSK (AES)」が設定されています。
SSID4 : opcl-nxxxxxx-4	5GHz 帯の無線ネットワーク名 (SSID) を示す。 暗号化は「WEP (128bit)」が設定されています。

お知らせ

- 本商品は 4 つの無線ネットワーク名 (SSID) を使用することが可能です。
- 本商品は工場出荷状態では、SSID2 と SSID4 は「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽 (ANY 接続拒否)」が「する」に設定されています。
- WEP など、WPA2-PSK (AES) に未対応の機器を使用して接続する方法は「リファレンスガイド」を参照してください。

Windows® 7の場合

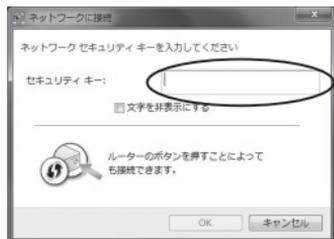
1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンをクリックする

※ タスクトレイは通常画面右下にあります。

※ アイコンは異なる場合があります。

2 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択して [接続] をクリックする

継続的にご使用される場合 [自動的に接続する] にチェックを入れたあと、[接続] をクリックします。

3 本商品の暗号化キーを入力する
暗号化キーは、本体底部にある出荷時設定情報ラベルに記載されています。4 画面の指示にしたがって、設定を完了させる
タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンが接続状態に変わると接続完了です。

Windows Vista® の場合

1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンを右クリックする

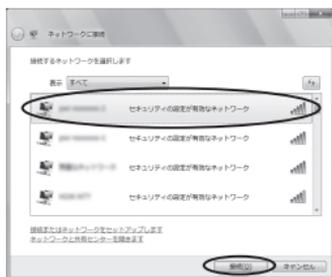
※ タスクトレイは通常画面右下にあります。

※ アイコンは異なる場合があります。

2 [ネットワークに接続] をクリックする

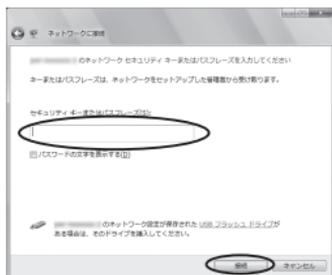
3 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択して [接続] をクリックする

「PIN コード入力画面」が表示された場合、「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックしてください。



4 本商品の暗号化キーを入力し、[接続] をクリックする

暗号化キーは、本体底部にある出荷時設定情報ラベルに記載されています。



5 画面の指示にしたがって、設定を完了させる

パソコンの「ネットワークに接続」画面を確認すると、接続した無線ネットワーク名 (SSID) の横に「接続」と表示されます。

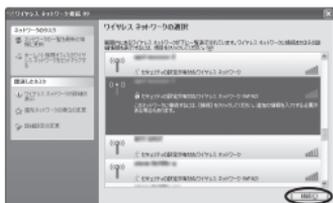


Windows® XP の場合

- 1 タスクトレイに表示されるワイヤレスネットワークのアイコンを右クリックする
 ※ タスクトレイは通常画面右下にあります。
 ※ アイコンは異なる場合があります。

- 2 [利用できるワイヤレスネットワークの表示] を選択する

- 3 本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択して [接続] をクリックする

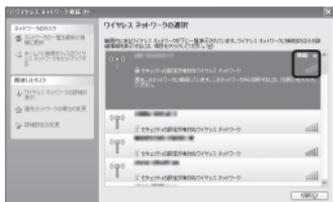
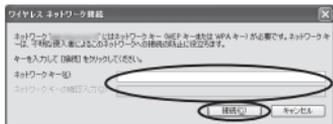


- 4 暗号化キーを「ネットワークキー」と「ネットワークキーの確認入力」の両方に入力し、[接続] をクリックする

暗号化キーは、本体底部にある出荷時設定情報ラベルに記載されています。

- 5 画面の指示にしたがって設定を完了させる

パソコンの「ワイヤレスネットワーク接続」画面を確認すると、接続した無線ネットワーク名 (SSID) の横に「接続」と表示されます。



3

接続設定

Mac OS X の場合

- 1 画面上部のアイコン  をクリックし、[Wi-Fi を入にする] を選択する

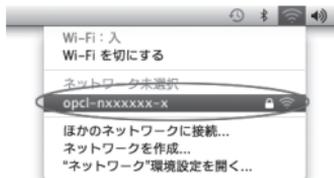
実行すると、周囲の無線ネットワーク名が自動的に検出されます。

- 2 画面上部のアイコン  をクリックし、右の画面が表示されたら、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択する

- 3 [Wi-Fi ネットワーク "opcl-nxxxxxx-x" には WPA2 パスワードが必要です。] と表示されたら、本商品の暗号化キーを入力し、[このネットワークを記憶] にチェックを入れ [接続] をクリックする

暗号化キーは、本体底部にある出荷時設定情報ラベルに記載されています。

ワイヤレスネットワークのアイコンが接続状態になると設定完了です。



お知らせ

- その他の機器については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

4

インターネットに接続する

この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

- 4-1 「Web 設定」を開く…………… 4-2
- 4-2 ルータモードの PPPoE を設定する …… 4-8

4-1 「Web 設定」を開く

本商品の設定を行う場合は、以降の手順を行って「Web 設定」を開いてください。
アクセスポイントモードで利用する場合は、本商品にインターネット接続（プロバイダ情報）の設定は必要ありません。以下はおもにルータモードで利用する場合の説明です。

Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

以下は、Windows® 7で Internet Explorer® 9.0を使用している場合の例です。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® XP の場合

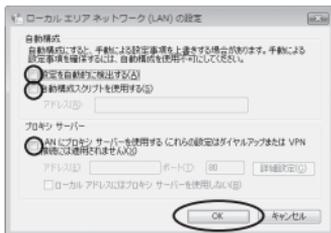
[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」を選択する

4 [LAN の設定] をクリックする



5 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LANにプロキシサーバーを使用する] のチェックを外し、[OK] をクリックする
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



6 [OK] をクリックする
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

4

インターネットに
接続する

JavaScript™ の設定をする (Windows® 共通)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。

※ Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 を使用している場合の例です。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックする

Windows® XP の場合

[ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。

3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

4 [サイト] をクリックする

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に本商品の IP アドレス [http://192.168.10.1/] (工場出荷時) を入力して [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする

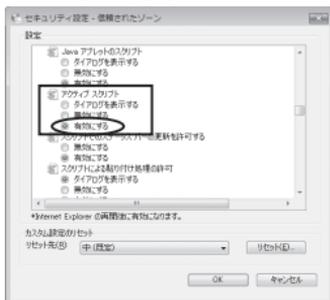
Windows® XP の場合 (Internet Explorer® 6.0 を使用した場合)

[次の Web サイトをゾーンに追加する] に本商品の IP アドレス [http://192.168.10.1/] (工場出荷時) を入力して [追加] をクリックし、[OK] をクリックします。



7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

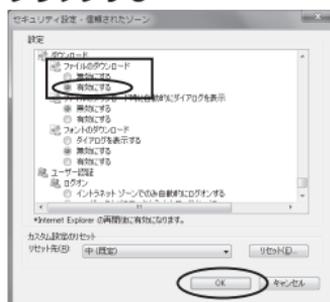
- 8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] を [有効にする] に変更する



- 10 警告ダイアログが表示された場合は、[はい] をクリックする

- 11 [OK] をクリックする

- 9 画面をスクロールし、[ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



お知らせ

- 本商品の LAN IP アドレスの初期値はモード切替スイッチの設定により異なります。
 アクセスポイントモード：X.X.X.211
 クライアントモード：X.X.X.240
 ※ X.X.X は本商品と接続するルータの LAN 側 IP アドレスにより変化します。LAN 側 IP アドレスの確認方法は、ルータの取扱説明書などをご参照ください。

WAN 側ルータの DHCP サーバが無いなどにより、WAN IP アドレスが取得できない場合
 アクセスポイントモード：192.168.0.1
 クライアントモード：192.168.0.1

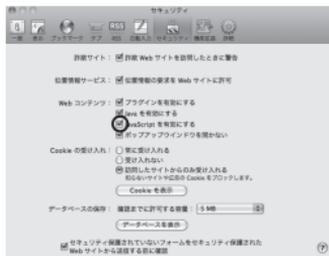
JavaScript™ の設定をする (Mac OS)

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。以下は Mac OS をご利用の場合です。

※ Web ブラウザの設定で、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS X 10.6 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 ウィンドウを閉じる



「Web 設定」を開く



初めて「Web 設定」を開いたときはかんたん設定が表示されます。「簡単セットアップガイド」を参照してご利用の環境に合わせて設定してください。

あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきましょう。設定画面が開けない場合には、「Web ブラウザの設定をする (Windows® 共通)」(☛4-3 ページ) および「JavaScript™ の設定をする (Windows® 共通)」(☛4-4 ページ)、「JavaScript™ の設定をする (Mac OS)」(☛4-6 ページ) をご覧のうえ、パソコンの設定を確認してください。

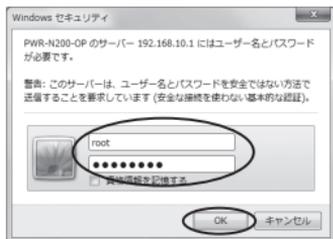
1 Web ブラウザを起動し、本商品の IP アドレス「http://192.168.10.1/」(工場出荷時) と入力し、「Web 設定」を開く

2 ユーザー名に「root」を、パスワードに「簡単セットアップガイド」で設定した管理者パスワードを入力し【OK】をクリックする
出荷時設定ではパスワードは設定されていません。

パスワードを忘れてしまった場合は、初期化ボタンで本商品を初期化してください。(☛1-8 ページ)

パスワードは未設定に戻ります。ただし、その他の設定もすべて初期設定に戻りますのでご注意ください。

3 「Web 設定」のトップページが表示される
必要に応じて関連設定を行ってください。機能の詳細については、「リファレンスガイド」を参照してください。



4
インターネットに
接続する

お知らせ

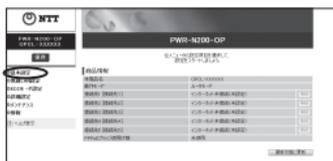
- 本商品の LAN IP アドレスの初期値はモード切替スイッチの設定により異なります。
アクセスポイントモード：X.X.X.211
クライアントモード：X.X.X.240
※ X.X.X は本商品と接続するルータの LAN 側 IP アドレスにより変化します。LAN 側 IP アドレスの確認方法は、ルータの取扱説明書などをご参照ください。

WAN 側ルータの DHCP サーバが無いなどにより、WAN IP アドレスが取得できない場合
アクセスポイントモード：192.168.0.1
クライアントモード：192.168.0.1

4-2 ルータモードの PPPoE を設定する

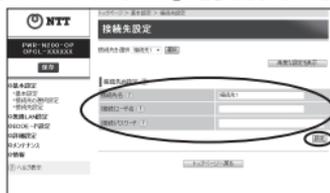
1 Web ブラウザを起動し、本商品の IP アドレス「http://192.168.10.1」
(工場出荷時) と入力し、「Web 設定」を開く

2 [基本設定] - [接続先設定] をク
リックする



3 プロバイダの資料にしたがって、入力し、「設定」をクリックする
設定内容の詳細は「リファレンスガイド」を参照してください。

※ [高度の設定画面を表示] をクリックすると詳細な設定項目が表示されます。
設定内容の詳細は「リファレンスガイド」を参照してください。



接続先名： プロバイダの名称など接続先がわかる任意の名称を入力
します。

(接続) ユーザ名： プロバイダの資料にしたがって、(接続) ユーザ名を入
力します。

「(接続) ユーザ名」はプロバイダによっては「認証
ID」、「ユーザ ID」のように書かれている場合があります。
例：xxxxx@xxxx.ne.jp

(接続) パスワード： プロバイダの資料にしたがって、(接続) パスワードを
入力します。「(接続) パスワード」はプロバイダによっ
ては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれ
ている場合があります。

※「(接続) ユーザ名」、「(接続) パスワード」に使用できるのは、半角の英数字と記
号で最大 128 文字までです。

※「(接続) ユーザ名」を入力した場合は、「(接続) パスワード」も入力してください。

4 [基本設定] - [接続先の選択設定] をクリックする

5 【接続可】にチェックを入れる



6 【設定】をクリックする

7 【保存】をクリックする



お知らせ

- PPPoE の接続先は最大 5 個まで設定することができます。
- 本商品は自動的にバージョンアップする機能を搭載しています。
インターネット接続が可能な状態では、ファームウェアの自動更新や時刻修正が実行されます。

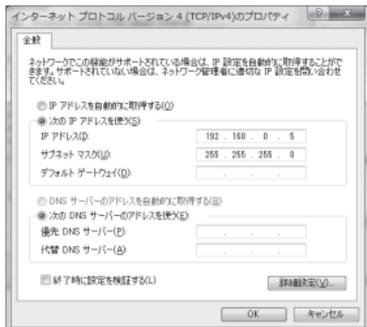
お知らせ

IP アドレスの手動設定

※以下の説明は、上位にある本商品（もしくは無線ルータ）の DHCP サーバが無効の場合となります。

アクセスポイントモード／クライアントモードで「Web 設定」にアクセスする場合は、インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定が必要です。

インターネットプロトコル (TCP/IP) の設定画面への接続は各端末のマニュアルにしたがってください。



このような画面が表示されたら、IP アドレスに 192.168.0.5、(「5」は任意の数字です。2-254 までの数字を入れることができます。) サブネットマスクに 255.255.255.0 と入力して [OK] をクリックしてください。



5

その他の設定

この章では、クライアントモードで使用する
場合の説明をしています。

5-1 クライアントモード..... 5-2

5-1 クライアントモード

クライアントモードは、無線 LAN 機能がないパソコンなどで無線 LAN を利用する場合に使用します。

※ モードを切り替える場合、電源コードをコンセントから抜き、一度電源を切ってから行ってください。

※ 無線 LAN アクセスポイント側は PWR-N200-OP のみ動作を保証しています。その他の無線ルータをご使用の場合動作の保証はいたしかねます。



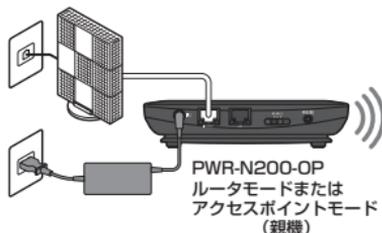
クライアントモードで設置する

- 1 PWR-N200-OP のモード切替スイッチを「CL」にする



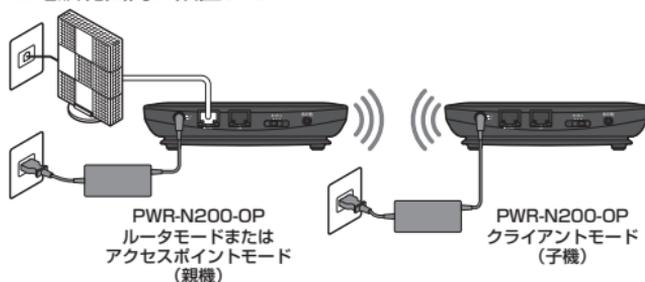
- 2 もう 1 台の別の PWR-N200-OP で下図のように無線ネットワークが確立されていることを確認する

※ 接続イメージ図はルータモードです。



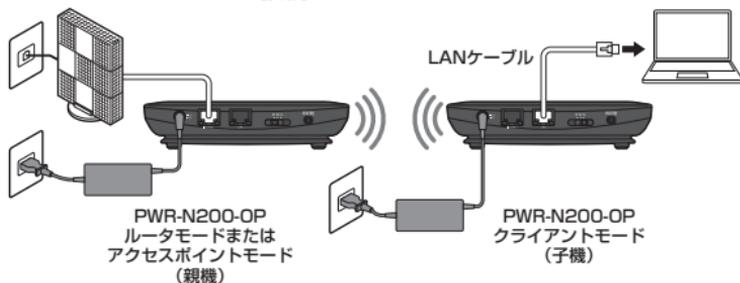
無線ネットワーク

- 3 クライアントモードに設定した PWR-N200-OP の電源を入れて無線 LAN の電波範囲内に設置する



PWR-N200-OP 同士の接続方法は「PWR-N200-OP 同士を無線 LAN で接続する」(●5-4 ページ)をご確認ください。

- 4 クライアントモードに設定した PWR-N200-OP の LAN ポートとパソコンを LAN ケーブルで接続する



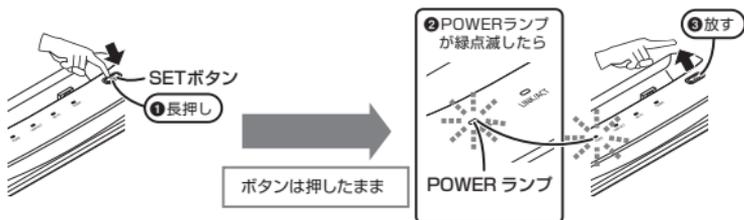
PWR-N200-OP 同士を無線 LAN で接続する

※ 本手順ではルータモードまたはアクセスポイントモードに設定した PWR-N200-OP を親機、クライアントモードに設定した PWR-N200-OP を子機と呼びます。

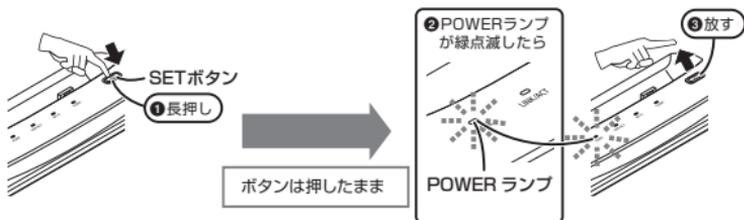
1 子機の CLIENT ランプが緑点灯していることを確認する

2 子機の SET ボタンを長押しして、POWER ランプが緑点滅になったら放す

POWER ランプが緑点滅するまで 7 秒程度かかります。

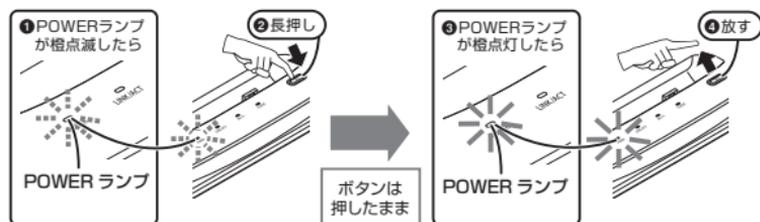


3 親機の SET ボタンを長押しして POWER ランプが緑点滅になったら放す



4 しばらく待って、親機の POWER ランプと子機の POWER ランプ両方が橙点滅に変わったことを確認する

5 もう一度親機の SET ボタンを長押しし、親機と子機の両方が橙点灯状態になったら放す



POWERランプが橙点灯（約 10 秒）すれば設定完了です。

POWERランプが赤点滅した場合は、設定に失敗しています。子機を初期化(▶1-8ページ)し、手順 1 からやり直してください。

6

困ったときは

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

- 6-1 有線 LAN でインターネットに
接続できない…………… 6-2
- 6-2 「Web 設定」を開けない…………… 6-3
- 6-3 無線 LAN でインターネットに
接続できない…………… 6-4
- 6-4 その他で困ったときは…………… 6-5

症 状	原因と対策
有線 LAN で接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品とパソコン両方の電源が ON になっていることを確認してください。 ● LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ● LAN ケーブルが本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ● パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ● パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。 ● ご利用のパソコンが「IP アドレスを自動的に取得」に設定されていることを確認してください。(7-2 章参照)
インターネットに接続できない	<p>【ルーターモードの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品のランプが次のように点灯しているかどうか確認してください。 POWER (電源) : 緑に点灯 Wi-Fi (無線 LAN) : 緑または橙に点灯または点滅または消灯 LINK/ACT : 緑に点灯 CLIENT (クライアントモード) : 消灯 ● PPPoE の設定 (プロバイダ情報) が正しく入力されているか確認してください。 ※ LINK/ACT ランプが赤点滅をしていると、PPP の認証が失敗しています。 ● 「2 章 設置する」を参照して、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの「インターネットオプション」の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(●4-3 ページ) ● 「Web 設定」の [基本設定] - [接続先設定] で、接続したい接続先の [接続可] にチェックが入っているかを確認してください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。 <p>【アクセスポイントモードの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品のランプが次のように点灯しているかどうか確認してください。 POWER (電源) : 緑に点灯 Wi-Fi (無線 LAN) : 緑に点灯または点滅または消灯 LINK/ACT : 橙点灯 CLIENT (クライアントモード) : 消灯 ● 「2 章 設置する」を参照して、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの「インターネットオプション」の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(●4-3 ページ) ● 本商品の電源を入れ直してください。 <p>【クライアントモードの場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本商品のランプが次のように点灯しているかどうか確認してください。 POWER (電源) : 緑に点灯 Wi-Fi (無線 LAN) : 緑に点灯または点滅または消灯 LINK/ACT : 橙に点灯 CLIENT (クライアントモード) : 緑に点灯 ● 「5 章 その他の設定」を参照して、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ● ダイアルアップの設定がある場合は、Web ブラウザの「インターネットオプション」の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(●4-3 ページ) ● 本商品の電源を入れ直してください。

6-2 「Web 設定」を開けない

症 状	原因と対策
「Web 設定」を開けない	<ul style="list-style-type: none">●有線または無線で正しく接続されているか確認してください。●正しいIPアドレスを入力しているか確認してください。 IPアドレスの初期値<ul style="list-style-type: none">・ルータモードの場合：192.168.10.1・アクセスポイントモードの場合：X.X.X.211・クライアントモードの場合：X.X.X.240●パスワードを忘れてしまった場合は、初期化ボタンで本商品を初期化してください。(➡1-8ページ)●パソコンのLAN設定を「IPアドレスを自動的に取得する」にします。(7-2章を参照)●本商品の電源を入れ直してください。●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web 設定」ページが表示されないことがあります。(➡4-3ページ)●ダイヤルアップの設定がある場合は、Webブラウザの「インターネットオプション」の「接続」で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。(➡4-3ページ)
Webブラウザで、本商品の「Web 設定」ページの画面が正常に表示されない または操作が正常にできない	<ul style="list-style-type: none">●お使いのWebブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。(➡4-4、4-6ページ)●お使いのWebブラウザが本商品に対応しているかは、「リファレンスガイド」の「Web 設定」の「[Web 設定]の使いかた」をご覧ください。
アクセスポイントモード、クライアントモードでLINK/ACTランプが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none">●アクセスポイントモードとクライアントモードの場合、WAN側ルータのDHCPサーバがないなどにより、WAN側IPアドレスが取得できない状態となると、LAN側IPアドレスが、自動的に「192.168.0.1」に設定されます。●本商品のWAN側に接続されているルータなどのDHCPサーバが有効になっていることを確認してください。

症 状	原因と対策
無線 LAN でインターネットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品と同じ無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化方式、暗号化キーを使用して無線デバイスを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 無線ネットワーク名 (SSID) <ul style="list-style-type: none"> 本商品底部の出荷時設定情報ラベルに印刷されています。 ・ 暗号化方式 「リファレンスガイド」の「Web 設定」を参照してください。 ・ 暗号化キー 本商品底部の出荷時設定情報ラベルに印刷されています。 ● 本書の「ご使用にあたって」、「電波に関するご注意」の項目を参照し、適切な環境で接続を試みてください。 ● 2.4GHz/5GHz で適切な周波数が設定されているか確認してください。 ● 端末側の機器が、無線 LAN のチャンネル 12、13 に対応していない場合は、無線 LAN のチャンネル (1 ~ 11ch) を手動で設定してください。設定方法は、「リファレンスガイド」をご覧ください。 ● 本商品の電源を入れ直してください。

6-4 その他で困ったときは

6

困ったときは

症状	原因と対策
無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> ●本商品の底部の出荷時設定情報ラベルに記載された無線ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをご確認ください。 ●本商品を初期化してください。(●1-8 ページ) パスワード、無線ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定が初期化され、工場出荷時の設定に戻ります。 <p>以下は本商品の出荷時の初期設定です。</p> <p>SSID1: [opcl-nxxxxxx-1] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化: WPA2-PSK (AES)</p> <p>暗号化キー: 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>SSID2: [opcl-nxxxxxx-2] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化: WEP (128bit)</p> <p>暗号化キー: 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>SSID3: [opcl-nxxxxxx-3] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化: WPA2-PSK (AES)</p> <p>暗号化キー: 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>SSID4: [opcl-nxxxxxx-4] 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p> <p>無線の暗号化: WEP (128bit)</p> <p>暗号化キー: 出荷時設定情報ラベルに印刷してあります。</p>
無線ネットワーク名 (SSID) 隠蔽を使用する設定を行ったあと、無線接続ができなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ●「無線ネットワーク名 (SSID) の隠蔽」の機能を「隠蔽を使用する」に設定し、パソコンを再起動すると、無線接続できなくなる場合があります。その場合は、以下の手順で設定を行ってください。(例: Windows® 7 の場合) <ol style="list-style-type: none"> ①タスクトレイにあるワイヤレスネットワークのアイコン  をクリックします。 ②本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を右クリックし、[プロパティ] を選択します。 

(次ページに続く)

症 状	原因と対策
無線ネットワーク名 (SSID) 隠蔽を使用する設定を行ったあと、無線接続ができなくなった (つづき)	<p>③ 「接続」タブを選択します。</p> <p>④ [ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する] にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。</p> 
自分で設定した管理者ログインパスワードを忘れてしまった	● 本商品を初期化してください。(➡1-8 ページ)
Windows® 7 で WPS が行えない	● お使いの環境によっては、本商品の無線ネットワーク名 (SSID) を選択したあと、「ルーターのボタンを押すことによって接続できます。」が表示されず、WPS ができないことがあります。その場合は、一度画面を閉じたあと、再度やり直すか、あるいは、出荷時設定情報ラベルに印刷された無線ネットワーク名 (SSID) および暗号化キーを参照し、手動接続を行ってください。
PIN コードを忘れた	<p>● 本商品の底部の出荷時設定情報ラベルに記載された PIN コード (初期値) をご確認ください。</p> <p>● 本商品の「Web 設定」を開き [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 簡単セットアップ] の「PIN 方式」の「使用する」にチェックを入れると、本商品の PIN コードが表示されます。</p>
バージョンアップできない	● 本商品または、本商品の WAN 側に接続されているルータなどがインターネットに接続しているか確認してください。
時刻修正できない	● 本商品または、本商品の WAN 側に接続されているルータなどがインターネットに接続しているか確認してください。



7

付録

- 7-1 仕様一覧..... 7-2
- 7-2 パソコンのネットワーク設定..... 7-4
- 7-3 「リファレンスガイド」について 7-7

7-1 仕様一覧

■ PWR-N200-OP

■ ハードウェア仕様			
項目	仕様	備考	
無線 LAN インタ フェース	インタフェース (準拠規格)	IEEE802.11a/IEEE802.11b/ IEEE802.11g/ IEEE802.11n	
	伝送方式	DS-SS、OFDM、MIMO	
	周波数範囲	2,412～2,472MHz (チャネル 1～13) 5,180～5,320MHz (チャネル 36～64)	
	伝送速度	802.11b : 11、5.5、2、1Mbps 802.11g : 54、48、36、24、18、 12、9、6Mbps 802.11a : 54、48、36、24、18、 12、9、6Mbps 802.11n : HT20 (HT40) HT20 130/117/104/78/52/ 39/26/13Mbps (mcs15-8) (2ストリーム) (LongGI) 65/58.5/52/39/26/ 19.5/13/6.5Mbps (mcs7-0) (1ストリーム) HT40 270.0/243.0/216.0/ 162.0/108.0/81.0/ 54.0/27Mbps (mcs15-8) (2ストリーム) (LongGI) 135/121.5/108.0/ 81.0/54.0/40.5/27.0/ 13.5Mbps (mcs7-0) (1ストリーム) HT40 300.0Mbps (mcs15) (2ストリーム) (ShortGI) 150.0Mbps (mcs7) (1ストリーム)	
	セキュリティ	WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA/WPA2- PSK mix mode (TKIP/AES)、WPA-PSK (TKIP/AES)、WEP (128/64ビット)、 MAC アドレスフィルタ、Any 接続拒否/ 無線ネットワーク名 (SSID) ステルス機能	
WAN インタ フェース	物理インタ フェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース (準拠規格)	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-T ※ 1	AutoMDI/ MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps ※ 1	自動認識/ 固定モード
	全二重/半二重	全二重/半二重	
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1ポート	
	インタフェース (準拠規格)	1000BASE-T/100BASE-TX/ 10BASE-T ※ 1	AutoMDI/ MDI-X 対応
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps/10Mbps ※ 1	自動認識
	全二重/半二重	全二重/半二重	

■ ハードウェア仕様		
項目	仕様	備考
使用電源	AC100V ± 10V (50/60Hz)	
消費電力	約 18W (最大)	
外形寸法	約 143.7 (W) × 96.8 (D) × 33.3 (H) mm (突起部分を除く)	
質量	約 230g	
動作環境	温度：0～35℃、湿度：10～80% (結露しないこと)	

※ 1 本商品を快適にご利用いただくには、1000BASE-T、1000Mbps もしくは 100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。

7-2 パソコンのネットワーク設定

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。

パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。

Windows[®] 7/Windows Vista[®]

Windows[®] 7/Windows Vista[®] の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する

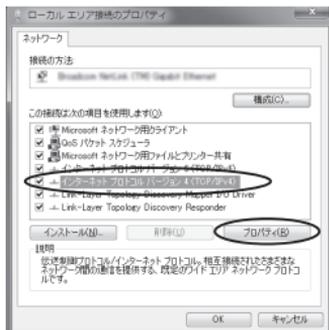
2 [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークと共有センター] をクリックする

3 [アダプターの設定の変更] または [タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする

4 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] または [閉じる] をクリックする

お知らせ

- 本書では、Windows[®] 7/Windows Vista[®] の通常表示モード(コントロールパネルホーム)を前提に記載しています。

Windows® XP

Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックする

 お知らせ

- 本書では、Windows® XP の通常表示モード* (カテゴリー表示) を前提に記載しています。

Mac OS X

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [Ethernet] を選択し、[構成] を [DHCP サーバを使用] にする
- 3 [DNS サーバ] は表示されたまま変更せず、[検索ドメイン] を空白にする



- 4 [適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる

7-3 「リファレンスガイド」について

本商品についての詳細は

http://web116.jp/shop/hikari_p/n200op/n200op_00.html
の「サポート」に掲載されている「リファレンスガイド」を参照ください。



お知らせ

- 「リファレンスガイド」には各種設定や接続方法などの詳細について記載しています。

MEMO

MEMO

本商品のお取扱方法等に関する相談は

- NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地方)の方
NTT東日本 通信機器お取扱相談センタ



0120-970413

受付時間／9:00～17:00 (年末年始12月29日～1月3日は除く)

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用の場合



03-5667-7100

(通話料がかかります)

故障の時は



0120-000113

(24時間受付 年中無休※)

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

